

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	開設して3年で管理者、計画作成者の変更等によりご家族には大変ご迷惑をおかけしている。また、利用者のご家族の関わりが薄く、事業所任せになっているところが多い。自宅に帰る機会も少なくなっている。	全利用者家族との率直な意見交換ができる関係作りをめざし、より信頼関係を深めたい。また事業所の行事にご家族が参加しやすい環境づくりに取り組んでいく。利用者のご家族と一緒に掛けられるよう努めていく。	6月初旬に家族懇談会、お茶会を開き、グループホームのあり方や取り組みについて説明をし、意見交換を行う。またお茶会で利用者のご家族と一緒に時間を過ごしていただき、様子を見ていただく。	3ヶ月
2	13	グループホームとしての災害マニュアルの整備がなく、水、食料などの備蓄も整っていない。職員の災害時の対応に対する意識が薄い。	災害マニュアルの作成と緊急時の対応の職員教育を行う。 早急に備蓄の整備をする。	災害マニュアルについては併設する小規模多機能と同様のマニュアルを作成する。緊急時には、小規模と連携を取り対応していく。 備蓄に関しては法人のほうで、6月に備蓄倉庫を設置し、順次、水や食料を用意することが決定した。	3ヶ月
3	12	基本的にグループホームにおいては、在宅の支援であるため、自宅での最後が望ましいと考えるが、状況により難しいこともある。急変時や終末期の具体的な指針を整備していない。ご家族との具体的な方針を考えたい。	急変時、終末期にあわてないために、ご家族の意向を確認し、安心して頂けるように書面を整えたい。 また、職員間でも情報を共有できるよう話し合っていく。	6月の家族懇談会の際、急変時、終末期の対応について説明し、看取りの対応について理解をしていただく。個々に希望を確認し、ご家族の思いに添った対応を行う。あわせて、書面の整備を行う。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。